

ビジネスと人権問題

【コーヒー産業】

目次

- ・ コーヒー産業の規模
- ・ コーヒー農家の抱える貧困
- ・ 貧困の原因
- ・ コーヒー農家への支援

The logo for Transeed, featuring the word "Transeed" in white text on a green rectangular background.

Copyright © 2013 Transeed Group
All right reserved.
<http://transeed.jp>

トランシード・グループによるレポートは、企業や政府による人権侵害の情報を提供する目的で作成されています。

日本語での情報が限られる分野で、英語による文献、ウェブサイトを中心に参照し、新たな情報を提供することを目指しています。

・コーヒー産業の規模

2011年、世界全体でのコーヒー生産量は790万トン、コーヒー市場の規模は約5兆6000億円に達しました。コーヒー産業によって、1億2500万人の人々が生計を立てています。

最も生産量が多い国はブラジルで全体の34%を占め、ベトナム、コロンビア、インドネシアが続いています。[1][2]

・コーヒー農家の抱える貧困

エチオピア

世界第五位のコーヒー生産国エチオピアでは、コーヒー豆を生産する小規模農家で1500万人が働いています。[2] ドキュメンタリー映画「おいしいコーヒーの真実」（2006）では、エチオピアのコーヒー農家が1キロあたりを1ブル（12USセント）で販売していると述べています。[3]

2006年当時、ニューヨーク市場におけるコーヒー豆の取引価格は1キロあたり2.63USドルでした。つまりエチオピアのコーヒー農家はニューヨークの市場価格の約22分の1しか受け取っていないこととなります。[4] 映画に登場する農業組合のマネージャーは「子供に教育を受けさせ、栄養ある食料と衣類を購入するには、現在の10倍の価格でコーヒーを販売しなければいけない」と述べています。

グアテマラ

グアテマラのコーヒー生産量は世界第八位です。[1] 2003年の調査によれば、コーヒー農園に雇用された労働者のほとんどが、国で定められた法定賃金を受け取っておらず、労働時間は12時間以上に及びます。また農園で働く10才から18才の子供に対するインタビューでは、彼らの内70%以上が給料を貰って仕事をしていることが明らかになっています。[5] 2010年、グアテマラで中学校に進学できるのは児童全体の48%です。[6]

・貧困の原因

コーヒー豆の80%は、世界中の小規模なコーヒー農家によって生産されてい

ます。[2] 貧困の一因として、こういった小規模なコーヒー農家の立場の弱さが挙げられます。

彼らは作物の市場価格の情報を持っておらず、また必ずしも小規模な農家同士の組合に入っているわけでもありません。そんな状況で中間売買人と取引をしなければいけないため、安く買いたたかれてしまいます。[2]

農家は作物を保存できる施設を持っていないため、市場価格の上昇を待つことができず、収穫後すぐに作物を売ってしまいます。作物を育てるのに借金をしている農家は、返済のためにすぐに売ってしまうこともあるでしょう。先物取引や為替レートの乱高下があれば、農家は作物の生産に費やしたコストすら回収できない可能性もあります。[2]

コーヒーの販売業者が限られていることも、農家からの買い取り価格を抑圧する原因として考えられます。収穫されたコーヒーは、焙煎業者に買い取られて焙煎されます。焙煎により消費者になじみのある茶色になって、スーパーやレストランで販売されるのです。このコーヒー焙煎市場の87%は、ネスレを含むトップの五社によって占められています。[7]

・コーヒー農家への支援

こうしたコーヒーの生産者の経済状況を改善するために、いくつかの試みが始まっています。例えばFairtrade Internationalは、輸入・販売業者がコーヒー農家からコーヒーを買い上げる際、いくつかのルールを定めています。

まず生産者が生活と生産活動に必要な給料を得るため、コーヒーの市場価格が大きく下落したときのために、買い取り最低価格が定められています。

2011年以降、1キロあたりの最低買取り価格は2.97USドル以上となっています。また生産者の企画する社会プロジェクト（技術トレーニング、学校設立など）に対して1キロ購入につき44セントの支援金が追加で支払われます。労働者の労働時間は制限され、15才以下の児童を雇用することは認められていません。こうしたルールの中で取引されたコーヒーはフェアトレード・コーヒーとして、Fairtrade Internationalの認証ラベル付きで販売されます。[8]

-
1. 1ドル=80円として計算。
 2. Fairtrade International. (2012) Fairtrade and Coffee. http://www.fairtrade.org.uk/includes/documents/cm_docs/2012/FT_Coffee_Report_May2012.pdf
 3. Marc Francis, Nick Francis. (2006) Black Gold. 邦題：おいしいコーヒーの真実 <http://blackgoldmovie.com> 2006年1月時の換算レートで計算。
Yahoo Finance <http://www.freecurrencyrates.com/exchange-rate-history/ETB-USD/2006>
 4. Insee. (2013) International prices of imported raw materials: Arabica coffee Contract C (New York - cents/lb) <http://www.insee.fr/en/>
 5. Commission for the Verification of Codes of Conduct. (2003) Women and Children: The Precarious Lives behind the Grains of Coffee. <http://www.coverco.org.gt/PDF/womenandchildren.pdf>
 6. UNESCO. Education (all levels) profile - Guatemala. http://stats.uis.unesco.org/unesco/TableViewer/document.aspx?ReportId=121&IF_Language=eng&BR_Country=3200&BR_Region=40520
 7. Agritrade. (2008) Coffee Executive brief 2008. p.8. <http://agritrade.cta.int/>
 8. Fairtrade International. http://www.fairtrade.net/price-and-premium-info.html?no_cache=1&tx_zwo3pricing_pi1%5BproductType%5D=7&tx_zwo3pricing_pi1%5Bcountry%5D=0&tx_zwo3pricing_pi1%5Bsubmit_button%5D=Go